四日市市
就学前教育・保育カリキュラム

ー活用版ー

四日市市幼児教育センター
令和７年３月

目次

1 はじめに

2 活用版発行に寄せて

3 四日市市就学前教育・保育で、大切にしたいこと 6

4 四日市市就学前教育・保育のビジョンについて 8

5 四日市市就学前教育・保育カリキュラムについて 16

6 就学前教育・保育と小学校教育への接続 54

7 あとがき 66

8 四日市市就学前教育・保育カリキュラム活用版にかかわった委員・関係者 69

Ⅰ はじめに

平素は、四日市市の就学前教育・保育にご尽力を賜り、誠にありがとうございます。

四日市市では、すべてのこどもが健やかに育つよう、就学前教育・保育の質の向上を目指して、令和５年４月に幼児教育センターを開設し、令和６年３月には、私立・公立の就学前教育・保育関係者の連携と協力のもと、「四日市市就学前教育・保育カリキュラム」を策定することができました。
また、本市のこども施策を総合的に推進するため、令和７年３月に策定した「四日市市こども計画」においても、就学前教育・保育の推進を重点施策に位置付けており、引き続き教育・保育の質の向上に取り組んでまいります。

国においても、令和５年１２月に「こどもまんなか社会」の実現に向け、「はじめの１００か月の育ちビジョン」が閣議決定されました。誕生前から幼児期までの「はじめの１００か月」は、長い人生を幸せな状態（ウェルビーイング）で過ごすため、特に大切な時期であり、社会全体でこどもの育ちを支えることが重要であるとされています。さらには、こどもの思いや願いを受け止め、主体性が大事にされることを視点に置き、こどもの今と未来を見据えていくことが求められています。

このたびの発刊にあたり、「四日市市就学前教育・保育カリキュラム活用版」が、多くの関係者の皆様のお手元に届き、こどもたちの安心と豊かな体験につながっていく一助となれば幸いでございます。

最後になりましたが、四日市市幼児教育・保育研究協議会会長の三重大学教育学部教授の富田昌平先生をはじめ、研究協議会委員の皆様に厚くお礼を申し上げます。

令和７年３月

四日市市こども未来部長
西村　敦志

Ⅰ はじめに

本市においては、令和3年3月に策定された四日市市教育大綱に、目指す子どもの姿を「夢と志を持ち、未来を創るよっかいちの子ども」と掲げ、それを受けて令和4年1月に策定した第4次四日市市学校教育ビジョンに学校教育の理念や方向性及び具体的な施策の展開を示しております。
第4次四日市市学校教育ビジョンの策定にあたっては、平成17年1月に策定した第1次四日市市学校教育ビジョンから大切にしてきた「生きる力」「共に生きる力」の育成を継承するとともに、「子どもにつけたい力」と「子どもの学びを支える学校づくり」の視点から5つの基本目標として、「確かな学力の定着」「こころとからだの健全な育成」「よりよい未来社会を創造する力の育成」「全ての子どもの能力を伸ばす教育の実現」「学校教育力の向上」を位置付け、目指す方向性を明らかにしました。
これら5つの基本目標に基づく様々な施策を横断的に結びつけ中心的な役割を果たす「施策の重点」の一つとして、「四日市市新教育プログラムの着実な実践」を掲げています。
このプログラムは、就学前から中学校の期間において、目指すべき子どもたちの姿を6つのテーマ（柱）に整理し、系統的に組み立て、就学前・小学校・中学校の各教育現場において教職員が共有して指導にあたることで、一貫性・連続性を意識した学びの一体化の実現を図ろうとするものです。
本市では、これまでも就学前・小中学校間での交流活動など、様々な連携を図ってきました。すべての子どもたちが自ら学びを調整しながら、主体的に学び続けることができるようにしていくことの重要性が高まる今、教育課程の工夫など効果的、互恵的な連携をさらに進め、就学前における育ちと学びを円滑に小中学校へつなげていくことが、ますます求められています。
このような中で、「四日市市就学前教育・保育カリキュラム」が公立、私立を問わず、各園、各小中学校において、教育課程の編成や教育・保育の実践に大いに活用されることを期待しています。
最後になりましたが、監修に携わっていただいた三重大学教授　富田昌平先生をはじめ、四日市市幼児教育・保育研究協議会、四日市私立幼稚園・認定こども園協会、四日市私立保育連盟、地域型保育事業所、四日市市公立園長会、その他関係機関の皆様に厚くお礼申し上げます。

令和７月年３月

四日市市教育長
廣瀬　琢也

2 活用版発行に寄せて

「遊びが子どもたちの未来をつくる」。とても素敵な言葉です。しかし、どんな遊びをどのように経験することが子どもたちの明るい未来をつくることにつながるのでしょうか。そのことについて考えるためのヒントが、本書には記されています。

根っこに必要なことは「安心感」と「信頼感」です。日々の生活の中で子どもが自由にのびのびと過ごすことのできる時間と空間とが保障されていると、子どもは安心でき、「この世界こそが自分の居場所だ」と感じることができます。また、いつも自分のことを気にかけてくれて、やさしく、ときに厳しく、そしてユーモアを持って接してくれる大人がそばにいると、子どもは信頼でき、「この世界はいろいろあるけれど、基本的には楽しいところだ」と感じることができます。

「安心感」と「信頼感」という根っこが育ってくると、子どもは「身近な環境」に興味・関心の手を伸ばし、それにじっくりとかかわり、試行錯誤をくり返します。そこに不思議さや面白さを見出し、「遊び」へとふくらませていくことができます。遊びがふくらんでくると、「もっと、もっと」「ああしたい、こうやりたい」という思いもめばえてきます。

同じような姿かたちをして、同じように感じることのできる仲間がそばにいて、同じようにふるまう姿を見て共感し合えるようになると、その遊びは子どもにとってより意味のあるものへと変わってきます。一人ひとり違った思いを持つ子ども同士なので、そこでは悲しみや怒り、葛藤などを経験することもあるでしょう。それでも仲間同士で達成できた時の喜びや満足はそれらをすべて吹き飛ばすほど大きなものに違いありません。

子どもがさらに年齢を重ねると、気の合う仲間のなかで何らかの役割を持ち、責任を果たし、貢献できたことの喜びや満足も味わうようになります。そして，これらの遊びを通した喜びや満足は、まわりの人たちに対する理解や思いやりの心にもつながっていくのです。

本書では、乳幼児期の子どもの遊びと発達、および実践上の工夫や留意すべき事柄などが豊富な実践例や写真とともにわかりやすく記されています。ぜひ各園で目の前にいる子どもたちへの実践を考えるうえで、あるいは幼児期の教育から小学校教育への学びの接続について考えるうえで、参考にしていただければと思います。

また、実践の計画に役立てるだけでなく、実践を終えて結果がどうであったかをふり返り、次の実践へと活かすうえでも参考にしていただければと思います。その際には、ぜひ園内の教職員間での対話、あるいは公私、幼保こども園など種別を超えた園同士の対話、さらには幼児期の教育と小学校教育との対話を豊かに行っていくうえで活用するなど、ともに学び合い育ち合う教育・保育の仲間づくりに活かしていただければと思います。

本書は四日市市幼児教育センターの教職員、ならびに関係各位の創意工夫と熱意、努力によってつくられました。令和5年4月のセンター設立からほんの2年間でこのように素晴らしい冊子がまたつくられたことには、驚きにたえません。このことに敬意を表するとともに、本書が四日市市の就学前教育・保育およびカリキュラムづくりの未来を明るく照らしてくれることを期待しています。

四日市市幼児教育・保育研究協議会会長
三重大学 教育学部
教授 富田 昌平

3 四日市市就学前教育・保育で、大切にしたいこと

遊びがこどもたちの未来をつくる

安心感と信頼感をもち、身近な環境にかかわり、
遊びの楽しさや心地よさを味わい　育てる就学前教育・保育

安心感と信頼感とは・・・・・

こどもたちにとって、こどもたちが存在する世界は、大好きなことを思う存分発揮できる居場所でしょうか。こどもが困ったとき、不安に思ったとき、怖いなあと思ったときなど、くっつくことができる保育者のいることが、こどもの安心感につながります。また、心の拠り所としての存在となることから信頼感が生まれます。そして、こどもたちは、身近な大人を信じ、自分を信じ、未知の世界にも挑戦しようと豊かな体験と遊びをはじめます。

身近にいる保育者が、こどもの自発的な姿を見守り、応援することで、安心感と信頼感が育ち、こどもがいろいろなことを探索し、思う存分遊びを楽しむ姿につながります。

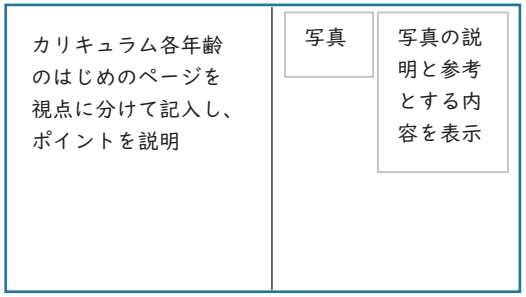
身近な環境とは・・・・

こどもたちが、興味・関心をもち、思わずかかわりたくなるような自然物や遊具、用具、絵本、素材などの物や人や出来事を大事にしていきます。

そこでは、人（保育者や友だち）や時間、空間において、一人ひとりのこどもが、自分らしさを発揮し、体験を重ねていきます。そのために必要な援助を保育者は行います。

本書の見方

本ページでは、「幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン（はじめの100か月の育ちビジョン）」の育ちの鍵となる「安心と挑戦の循環」に沿い解説しました。16ページ以降の各年齢ごとに本ページ記載の「安心と信頼」「環境と援助」を「四日市市就学前教育・保育カリキュラム」活用版のポイントとし、活用ポイントを左ページに、右ページにこどもの生活や遊びの姿を具体的に示し、参考とする内容を表示しました。各年齢の視点やポイントに分けて記入してありますが、こどもは一体的に育っていきます。そのため、視点やポイントは重なりあい、つながりあい、一人ひとりのこどもの育ちにかかわっています。



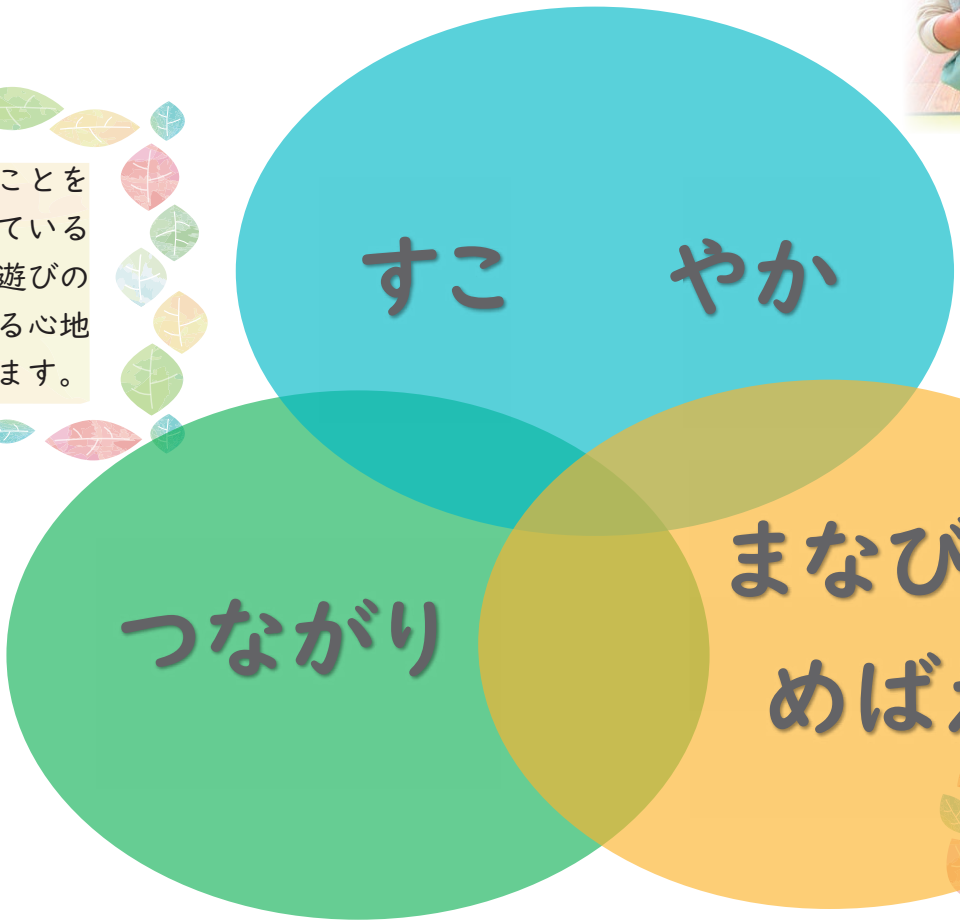
4 四日市市就学前教育・保育のビジョンについて

経験したい内容を3つの視点で捉えるよ。

友だちと「一緒のことをしてみたい、何しているのかな」と生活や遊びの中で、人とつながる心地よさが育っていきます。

3つの視点の内容は、重なっているよ。

乳幼児期の遊びや活動は総合的に行われるからね。



保育者や友だちと一緒に、食べることの喜びや嬉しさを五感から実感し、生きる力の基礎が育ちます。

身近な素材や遊具を使い、自分の思いや考えを出し、遊んでいます。

すこやか

**安全で、安心した環境のもと、
しなやかな心と体を育てます。**

生活や遊びを通し、思う存分体を動かし、様々な経験を重ね、自立心と自律性を育みます。

興味・関心を広げ、試したり、繰り返したりし、体を動かすことを楽しみます。

つながり

人から愛され、自分を大事にし、
互いに認めあう心を育てます。

友だちと一緒に遊び、いろいろな気持ちを共有し、人とかかわることの心地よさを味わいます。

自分の思いを表現し、友だちの思いを知る中で、周りの人との関係性を築いていく心が育ちます。

まなびのめばえ

夢中になって遊び、達成感や充実感、自分を表現する喜びを味わう中で、思考力や想像力、探究心を育てます。

遊びを通して、やりたいと思ったことをやりきったり、自分で考えたことを試してみたりし、面白さや楽しさを味わいます。

様々なことに関心をもち、遊びを楽しむことで、好奇心や探究心、学びへの基盤が育ちます。

5 四日市市就学前教育・保育カリキュラムについて

さあ、ここからは0歳児から5歳児の年齢別の教育・保育カリキュラムを考えてみよう。

3つの視点を「 安心と信頼」のポイント、「 環境と援助」のポイントから考え、こどもの育ちと学びを支える遊びの充実につなげよう。

生涯にわたる人格形成の基礎が培われる重要な時期である就学前のこどもたちの「 主体的な遊びなどを通しての学び」の充実を図っていこう。

全体的な計画ならびに指導計画の作成、実践、評価を行い、教育・保育の質の向上を目指していきたいね。

すこやか

保育者が、愛情豊かに一人ひとりのこどもにかかわることで、情緒が安定し気持ちよく過ごす

安心と信頼のポイント
・特定の保育者の見守り
・授乳やおむつ交換や衣服の着脱など、保育者とのかかわり
・快、不快の要求に応じる　・体調の変化への対応
・気持ちを受け止め、スキンシップする

環境と援助のポイント
・室温、湿度、換気、採光、清潔などの環境を整える
・一人ひとりの生活リズムに応じ、心地よく過ごせるようにする
・こどもの生活が相互に分かるよう家庭と連携し、成長の喜びを分かち合う

新しい世界へかかわり、心を開いていこうとする主体が育まれ、生活や遊びを楽しむ

安心と信頼のポイント
・言葉にならないサインや表情をしっかりと受け止める

環境と援助のポイント
・はいはいやつかまり立ち、伝い歩き、歩行など、全身を使って遊べる環境や、つまむ、たたく、ひっぱる、めくるなど手や指を使って遊べる環境
・こどもの発語や指さしや触りたい、遊びたい、試したいなどの要求を受け止め、共感関係を築く

あやされたり、声をかけられたり、保育者とのかかわりを繰り返し体験し、自分の要求を発し、活発に動いています。

保育者の話しかけなどの応答的なかかわりや安心して戻れる関係性のもと、こどもが興味・関心をもち、体を動かそうとしています。

保育者に温かく見守られる中で、こども同士が一緒にいる心地よさを感じています。

0歳児

つながり

保育者との関係のもと、自分の思いを安心して表現したり、やり取りしたりする楽しさを感じる

安心と信頼のポイント
・こどもの思いを汲み取った丁寧な保育者のかかわり
・こどもの気持ちに寄り添い、経験していることが広がるような保育者のかかわり

環境と援助のポイント
・こどもの願いに共感し、興味・関心をひく環境を整える
・相手のしていることへの興味や他の子が持っているものを欲しがるなどの姿に応じ、玩具や遊具を揃え、保育者が言葉がけや身振りで仲介する

保育者や友だちの姿や行動に関心をもち、真似たり、かかわったりする

安心と信頼のポイント
・保育者の温かい言葉がけや身ぶりでの応答
・こどもの発語や表情や指差しなどの要求を汲み取る

環境と援助のポイント
・安心できる保育者と遊べる空間や玩具などの環境
・友だちへの関心を引き出す保育者のかかわり

「抱っこするよ～」「眠たいね、大丈夫だよ、そばにいるよ」など、優しく話しかけるといいね！

保育者や友だちの姿や行動に関心をもち、自分の気持ちを表情や態度で表現し、遊びを楽しんでいます。

保育者とのやり取りを楽しんでいます。身近な大人が安心できる存在であることを知り、新しい玩具や環境に、意欲的にかかわろうとしていきます。

人とのかかわりを心地よく感じる生活や遊びを積み重ねています。

0歳児

まなびのめばえ

周りの様々なものやことや人への興味・関心を示し、やってみたいという思いを膨らませ、試そうとする

安心と信頼のポイント
・特定の保育者との愛着
・心地よい生活の基盤を築く保育者との関係

環境と援助のポイント
・関心をもち、手を伸ばしたり触れたりすることができる環境
・こどもの表情や表現に応じた保育者の適切な反応

「それ気になるの？触ってみる？」　興味を示している姿を見逃さないことが大事だね！

自分の思いを特定の保育者に受け止めてもらい、安心して自分を表現する

安心と信頼のポイント
・安全に探索できるよう保育者の温かい見守り
・興味・関心に応じた応答的な言葉がけ

環境と援助のポイント
・こどもの興味に合わせた十分に動けるスペースや玩具の種類や数を考えた環境
・見る、聞く、触るなどの五感を使った遊びを豊かに体験できる環境
・保育者が表情豊かに言葉がけし、一緒に遊ぶ

保育者との安心できる関係のもと、様々な物に興味をもち、探索することを楽しんだり喜んだりしています。

保育者に見守られ、自分の好きな絵本・玩具・場所に安心し、初めて見る物にも、そっと近づいていきます。

興味をもった物を見つけるといろいろと試しはじめ、気にいったことを繰り返し楽しんでいます。

1歳児

すこやか

保育者の愛情深いかかわりのもと、要求や願いを受け止めてもらい、安心感をもち、意欲的に活動する

安心と信頼のポイント
・不安や要求を受け止める、やりたいことの見守りや共感
・安全に配慮して一緒に遊ぶ

環境と援助のポイント
・少人数で過ごせる空間、一人ひとりの生活リズムを保障する時間、発達に応じた玩具や全身運動で活発に遊べるような環境
・「自分で」という気持ちを大切にし、できないところは保育者がさりげなく手助けをしながら満足感を味わえるようにする

ゆったりとした雰囲気の中で、食事を楽しむ

安心と信頼のポイント
・安全衛生に配慮し、自分で食べたいという気持ちを尊重する
・こどもの不安や要求を受け止め、食事を楽しめるようにする

環境と援助のポイント
・一人ひとりのこどものペースを保障する
・個々に応じた食具の準備、食事量、食べ方（噛み方）、し好等を把握し、柔軟に対応しながら、自分で食べるという意欲が育つようにかかわる

口元の少し手前にスプーンを置く（押し込まないように）ことが大事だね！

一口の量は少なめにするといいよね！

園内や室内で繰り返し遊ぶことで、気持ちが満たされ、安心して遊んでいます。

段差や斜面などの起伏のある場所で「やってみたい」と全身を使う動きを試し始めています。

ゆったりとした雰囲気の中で、食べたいという気持ちを保育者に受け止めてもらい、食べることを楽しみます。

1歳児

つながり

自我を意識し、周りの友だちとのかかわりを通して自己発揮する

安心と信頼のポイント
・自己肯定してくれる保育者のかかわり
・友だちとの仲立ちや自分の思いへの共感や代弁

環境と援助のポイント
・身近な生活の見立てができる遊具や用具
・自然物にかかわることができる環境
・友だちとイメージが共有しやすくなるようなかかわり

自分の思いを主張し、周りの人とつながろうとする

安心と信頼のポイント
・周りの人に関心をもてるよう保育者が仲立ちする
・発語につながる言葉がけやかかわり

環境と援助のポイント
・安全でじっくり遊ぶことのできる空間や玩具の確保
・友だちへの関心を引き出すかかわり

言葉の意味がすぐにわからなくても、優しいトーンや笑顔、スキンシップを通じて、愛情を感じとっていくんだね！

友だちに興味をもち、触れあったり同じことを真似たりし、心地よく過ごしています。

玩具や身の回りの物を使い、保育者や友だちと「つもり遊び」を繰り返しています。

友だちの持っているものが欲しくなるなどの気持ちを保育者に受け止められ、代弁してもらうことで、安心し、いろいろな気持ちを表現していきます。

1歳児

まなびのめばえ

繰り返し同じ物を好んだり、じっくり遊んだりする

安心と信頼のポイント
・安心できる距離や見守り
・大人との心地よいかかわり
・こどもの発見や驚きへの共感

環境と援助のポイント
・水・砂・土などの感触を味わえる環境
・簡単な繰り返しのある絵本や紙芝居のある環境
・触れる、試す、驚くなどの探索活動ができる環境
・様々な体験を共有し、こどもの発見や遊びを受け止める

興味・関心のある様々な物に触れたり、試したりして遊ぶ

安心と信頼のポイント
・指差しや片言への共感や意味づけ
・友だちと一緒に遊びたいという思いを汲み取った保育者のかかわり

環境と援助のポイント
・素材の感触・感覚を楽しむ環境を整える
・見立てやつもり遊びが楽しめる環境
・生活の体験や出来事を見立てたり、つもりになったりして遊ぶことを楽しめるようにし、言葉のやり取りへつなげる

身の回りの物に関心をもち、手先を使い、思う存分遊んでいます。

保育者や友だちと一緒に自然と触れ合う中で、見る・聞く・触る等の経験を繰り返し、感性を豊かにしていきます。

言葉が増えてきて、保育者や友だちと簡単な言葉でやり取りし、身近な人の真似をしたり、生活を再現したりして遊んでいます。

２歳児

すこやか

歩くことを楽しみ、走る、跳ぶなどの運動機能が高まり、体をコントロールする

安心と信頼のポイント
・個々にあった見守りや対応
・こどもの意欲や関心に気付く
・友だちの真似や物の見立ての仲介

環境と援助のポイント
・全身の活動ができる遊具や用具
・玩具やコーナーでのゆったりとした遊びの保障
・音楽に合わせ体を動かす空間
・安全に配慮し、こどもの姿に応じ、様々な動きが取り入れられるよう一緒に遊ぶ

食具を使い、保育者や友だちと一緒に楽しく食事をする

安心と信頼のポイント
・個々に応じた食事、排泄、睡眠などの見守り
・体調や食事量、食具の使い方など、こどもに合わせた丁寧な対応
・保育者が共に、楽しく食事をする

環境と援助のポイント
・清潔で心地よい環境
・机や椅子や食具や食器などこどもの発達に合わせた対応についての保育者間での連携

保育者や友だちと、歩く、走る、跳ぶなどの動きを、一人ひとりが自由に取り入れ、楽しんでいます。

自分のやりたいことを受け止めてもらい、安心して周りの環境にかかわり体を動かしています。

保育者や友だちと、様々な食べ物を食べようとしたり、スプーンやフォークを使ったりして、食事を楽しんでいます。

つながり

自己主張し、自分の好きな遊びをする

安心と信頼のポイント
・自分でしようとする気持ちを大切にし、ゆったりとかかわる
・一人ひとりの遊びや興味の理解と新しい環境へのかかわりの手助けをする

環境と援助のポイント
・ごっこ遊びや見立てやつもり遊びなど、友だちと共に遊ぶことができる遊具を十分に整える

「〇〇したかったんだね」など、
否定せずに、こどもの気持ちを
言葉にして伝えると安心するね！

友だちへ関心をもち、真似たり、そばにいたりし、かかわろうとする

安心と信頼のポイント
・言葉で表現できない思いに寄り添い、友だちの思いに気付けるようにする
・遊びを楽しむ中で、友だちとのイメージの共有ができるように仲立ちする

環境と援助のポイント
・友だちとイメージを共有できる玩具や遊具などの環境
・生活や遊びの中で友だちの名前を呼んだり、話したりしたい気持ちを受け止める

保育者に自分の思いを十分に受け止めてもらうことで、身近な人への関心につながります。友だちとやり取りしたり、一緒に遊んだりして、人とかかわる心地よさを感じています。

自分の意思やこだわりを主張し、友だちと思いが食い違ったり、葛藤したりします。不安になった時は、保育者のもとに安心して戻っています。

表現したことを保育者に受け止めてもらうことで満たされ、友だちにも伝えようとしています。

２歳児

まなびのめばえ

身近な人や物などへの興味をもち、かかわろうとする

安心と信頼のポイント
・こどもの好きを認め、面白さや驚きを共有
・一人ひとりのこどもが困った時に、くっつける関係
・遊びの面白さが感じられるよう保育者が一緒に楽しむ

環境と援助のポイント
・自然物や素材・用具を準備し、保育者と一緒に集めたり、探したりすることを楽しめるよう環境を整える
・見立てたり、なりきったりできる環境
・「なぜ？」「どうして？」と疑問に思う好奇心に丁寧に寄り添う

保育者や友だちとイメージをもち、つもりになって遊ぶ

安心と信頼のポイント
・こどもの言葉を受け止め、伝えたい気持ちを代弁する
・保育者をモデルとして遊ぶことが楽しいと思えるかかわり

環境と援助のポイント
・身近な生活や大人の真似をして楽しめる環境
・話の内容や伝え方を工夫し、ごっこ遊びなどを通して、言葉のやり取りの面白さが感じられるようにする
・こどもの気付きを保育者が言葉に置き換えたり、共感したりし、より興味が深まるようにする

身近な生き物や草花などに興味をもち、見たり触れたりを繰り返し、集めることや探すことへの関心が高まっています。

様々な遊びを通して、「なにかな」と思う好奇心が芽生え、保育者との応答的なやり取りを楽しんでいます。

自然物や素材などの感触の違いや変化を感じ、表現したことを保育者に受け止めてもらい、興味・関心を広げています。

3歳児

すこやか

自己発揮し、意欲的に体を動かして遊ぶことを繰り返す

安心と信頼のポイント
・こどもの不安や戸惑いなどの気持ちを受け止める
・こどもの意欲を受け止め、自信につなげる
・こどものやりたいことを一緒に楽しむ

環境と援助のポイント
・こどもの目線で、動線を考えた安全な環境構成
・こどもの興味・関心を引き出す環境
・園内のいろいろな場所や園庭の使い方など、一人ひとりの姿に合わせ丁寧に伝える

友だちと一緒に食べることを楽しむ

安心と信頼のポイント
・食べようとする意欲を受け止める
・一人ひとりに合わせた食具を用意するなど、丁寧にかかわる

環境と援助のポイント
・様々な食材や調理形態を知らせる
・食生活に必要な基本的な習慣・マナーを知らせ、やってみようとする気持ちを育てる
・友だちと食事を楽しめる雰囲気をつくる

「今日はにんじんが入っているね」
「きゅうりのいい音がするね」

焦らず、楽しく食べる経験を増やすことが大切だね！

保育者や友だちを追いかけたり、追いかけられたりし、思う存分走る楽しさを味わっています。

戸外で遊ぶことを喜び、気に入った遊具で、全身を使って遊んでいます。

友だちの食べている様子に関心をもち、自分で食べた満足感を保育者と共有し、喜んで食事をしています。

３歳児

つながり

友だちへの関心が育ち、友だちがしていることに興味をもち、一緒に遊んだり、生活したりする

安心と信頼のポイント
・こどもとの応答的な関係をつくる
・友だちの思いに気付き、友だちに関心がもてるように仲介する

環境と援助のポイント
・一人ひとりのこどもの興味・関心を引き出す環境を整える
・保育者がかかわり、意欲的に遊べるようにする

一人ひとりが自分のイメージをもち、見立て遊びやつもり遊びを楽しみ、友だちとやり取りしようとする

安心と信頼のポイント
・保育者が代弁したり共感したりし、友だちとのかかわりをもてるようにする
・遊びを楽しむ中で、簡単なルールや順番や交代などに気付くよう配慮する

環境と援助のポイント
・友だちと遊ぶことが楽しいと思える環境構成と雰囲気づくり
・一人ひとりのこどもの様々な活動に向けての思いに寄り添い、満足感を味わえるようにする

だるまさんがころんだ、むっくりくまさん、しっぽとり・・
一緒に遊ぶと楽しいね！

保育者や友だちのしていることをやってみようとし、楽しい経験を重ねます。

簡単なルールのある遊びを楽しむ中で、約束やきまりに気付き、それを守ろうとする行動にもつながっていきます。

保育者や友だちと一緒に遊ぶ中で、自分の思いを伝えたり、友だちの思いを感じたりしていきます。

3歳児

まなびのめばえ

遊びで発見したことや見つけたことをつぶやいたり、イメージをもち、なりきったり、ごっこ遊びをしたりする

安心と信頼のポイント
・困った時には見守ったり、眼差しを送ったり、状況に応じてかかわり、安心して行動できるようにする
・気持ちや表現を受け止め、言葉で伝えられるよう仲介する
・こどもが喜んでやり取りする遊びを一緒に楽しむ

環境と援助のポイント
・自然物や素材、音楽、絵本や紙芝居などをこどもの興味・関心に応じて整える
・必要に応じて仲立ちしながら、友だちと共感しあえるようにする

周りの玩具、遊具に興味を示し、自分のやりたい遊びを見つけ楽しもうとする

安心と信頼のポイント
・様々な関連に気付き、話したり、聞いたりする姿を見つけ、共感する

環境と援助のポイント
・戸外で全身を使って遊ぶ楽しさを味わえるよう、遊具を組み合わせた環境設定の工夫
・興味・関心に応じた十分な素材の用意
・工夫したり、考えたりし、思う存分遊べるようにする

友だちや異年齢の子のすることにあこがれをもち、一緒に過ごしたり、遊んだりします。

身近な素材や用具を使って繰り返し遊びながら、物の違いや変化に気付いています。

生活や遊びの中で、色・形などに興味をもち、分けたり、集めたり、組み合わせたりして遊んでいます。

すこやか

全身のバランスや体のコントロールをしながら、試したり、挑戦したりすることを楽しむ

安心と信頼のポイント

・戸外での活動は、季節に応じて工夫し、楽しめるようにする
・周りの環境にかかわろうとする姿から、こどもの願いを汲み取る
・鬼ごっこなどルールのある遊びを通し、ワクワク・ドキドキしながら、一緒に遊びを楽しむ

環境と援助のポイント

・自然に触れることや遊具や用具を使い、様々な体の動きを取り入れ遊べるよう環境を設定する
・遊びの様子に合わせ、環境を工夫できるようにし、好きな遊びが十分に楽しめるようにする

食生活に必要な基本的な習慣やマナーを身につける

安心と信頼のポイント

・食べることが健康と関係があることを知らせ、食への意識を高める

環境と援助のポイント

・絵本や掲示などを通して、様々な食材と栄養について興味をもったり、食事のマナーの大切さに気付いたりする環境を整える
・様々な食材にチャレンジしてみようと思う気持ちに寄り添い、保育者や友だちと一緒に食べる楽しさを味わえるようにする

友だちと安全に遊具や用具を使おうとしています。年上の子や保育者などの身近な大人を真似て、体の動きを工夫します。

ルールのある遊びを繰り返し楽しみ、友だちと考えを出しあい、より複雑な動きを取り入れ、楽しもうとしています。

保育者や友だちと一緒に食事することを楽しむ中で、食事のマナーや習慣が身に付いていきます。

4歳児

つながり

友だちのしていることに興味をもったり、自分のしていることに友だちを誘ったりし、一緒に遊ぼうとする

安心と信頼のポイント
・自分の思いを伝えたり、友だちの思いに気付いたりすることができるように、必要に応じて橋渡しをする

環境と援助のポイント
・やってみたいと心が動く環境
・遊びの様子にあわせ、友だちや保育者と共に再構成できる用意をしておく

「こうしたらもっと面白くなるかな？」
と、こども自身が試しながら
遊べる環境が、主体性を育むんだね！

自分の気持ちを言葉で伝えたり、友だちの話に関心をもって聞いたりすることを心地よく感じる

安心と信頼のポイント
・イメージ通りにできない不安や友だちと思いがぶつかりあう姿に寄り添う

環境と援助のポイント
・安心して遊べる居場所や、遊具や用具、素材、自然物などの環境
・一人ひとりのこどもの思いや考えが、友だちや周りの人に伝わるように仲立ちし、楽しさを共有できるようにする

保育者と共に、自分の思いを伝えることや友だちの思いを聞くことを通して、様々な遊びやルールを考えたり、工夫したりしています。

友だちと一緒に遊ぶ中で、考えや思いの違いに気付いたり、葛藤したりしながら、折りあいをつけようとします。

友だちとイメージを共有し、なりきったり、役割を楽しんだりしています。

４歳児

まなびのめばえ

自分の好きなこと、関心のあることを友だちと十分に楽しむ

安心と信頼のポイント
・こどもが楽しんでいること、やりたいことを感じ取り、試したり考えたりしている過程を認める
・一人ひとりの思いや遊びのイメージを受け止め、周りに伝えることで、共感しあえるようにする

環境と援助のポイント
・必要に応じて遊びに使う遊具を準備したり、ルールを一緒に考えたりする
・遊びを通して、友だちと遊ぶ楽しさを発見し、興味・関心を広げられるよう働きかける

こども同士で遊びを進め、遊びを繰り返し、遊びを展開する

安心と信頼のポイント
・物事の因果関係に気付いたり、経験したことを表現したりすることを友だちと共有できるようにする
・まなびのめばえにつながるよう、こどもと一緒に楽しみ、夢中になって遊ぶ
・見たことや感じたことなどを友だちと言葉で伝えあえるようにする

環境と援助のポイント
・様々な素材や用具、自然物など、こどもが工夫して使えるよう環境を整える
・友だちと遊びの見通しを立てたり、イメージを共有しようとしたりする姿をていねいに捉え、やってみようと思える援助をする

身近な草花や虫、自然現象に興味や親しみをもっています。触れたりかかわったりすることで、様々なことに気づき、疑問をもち、試そうとしています。

保育者や友だちに発見したことを伝え、大きさや長さ比べなどをし、気付いたことを確かめようとしています。

身近な素材や用具を使って、意欲的に試したり工夫したりし、友だちや保育者と一緒に、楽しんでいます。

5歳児

すこやか

友だちと共に遊具や用具を使い、目標をもち、挑戦しようと繰り返す

安心と信頼のポイント
・友だちから刺激を受けて、自分なりに目標をもったり、やってみようとしたりする姿を見守る
・自分から進んで、遊びをすすめようとする意欲を認める

環境と援助のポイント
・遊びの様子にあわせ、工夫できるよう環境を整える
・素材や道具や用具、自然物などの準備をし、手先を使った遊びを工夫できるようにしておく

ルールやゲーム性のある遊びを友だちと協力して楽しむ

安心と信頼のポイント
・友だちと考えあったり、話しあったりし、イメージを共有できるよう働きかける
・遊びの過程を認められる喜びや遊び込む面白さを味わえるようにする

環境と援助のポイント
・こども自身が安全を気にかけ、遊具や用具の組み合わせを友だちと考え、使い方を工夫できるようにする
・必要なルールやきまりについて、こども自身が気付き、考えていけるようにする

幼児期運動指針ガイドブックを参考にしてみてね！

遊具や用具を巧みに使い、自分の力を発揮し、充実感や達成感を味わっています。

身近な自然や素材を取り入れ、ダイナミックに体を動かしながら、友だちと共通の目的をもち挑戦しています。

ルールのある遊びや集団遊びを通して、友だちと作戦を考えたり、相談したりし、協力しながら楽しんでいます。

５歳児

つながり

友だちへの意識が高まり、友だちとかかわりながら遊びを楽しむ

安心と信頼のポイント
・様々な価値観に気付き、揺れ動く気持ちに保育者が寄り添う
・自分自身のことに気付いたり、友だちのよさに気付いたりする過程に丁寧にかかわる

環境と援助のポイント
・工夫したり、新たな発想を試したりできる環境
・保育者も一緒に遊び、悩みを共有したり、気付いたことを伝えたりし、こども自身が考えや思いを巡らせることができる機会をもてるようにする

「やってみたこと自体が素晴らしい」失敗がマイナスではないことを実感できる環境が大事だね！

共通の目的に向かって友だちと力をあわせ、やり遂げようとする

安心と信頼のポイント
・困った時や葛藤している場面をとらえ、折りあいをつけようとする気持ちが生まれる過程を受け止め、かかわる

環境と援助のポイント
・こどもたちのやってみようとする気持ちを発揮できる環境
・友だちやクラスのみんなと遊ぶ楽しさや、やり遂げる満足感が味わえるようにする
・自分の思いを友だちに分かるように話したり、友だちの思いや考えを受け入れたりする大切さに気付く経験を重ねていけるようにする

友だちと目標に向かって取り組む中で、自分と相手の考えの違いに気付き、折りあいをつけ、力を合わせ達成感を味わおうとしています。

好きなことや得意なことなどを伝えたり、疑問に思ったことや分からないことを尋ねたりし、一緒に考えています。

好奇心旺盛に様々なことを繰り返し楽しむ中で、友だちと楽しさを共有し、考えたことや工夫したことを話しあい、遊びを発展させていこうとします。

５歳児

まなびのめばえ

「こんなことがしたい」「こうやってみよう」「こんなふうになりたい」という思いを遊びに反映しようとする

安心と信頼のポイント

・一人ひとりのなりたい自分ややりたいことなどを受け止め、自信をもち遊び込めるよう見守る
・安心して就学できるよう、小学校見学や地域交流などを取り入れ、期待を膨らませたり、困った時の具体的な方法を知らせたりするなどの配慮をする

環境と援助のポイント

・季節の変化や美しさや不思議さに気付ける環境やかかわり
・イメージしたことを工夫して作ったり表現したりする楽しさが味わえる環境の設定
・こどもと一緒に、どのような素材や道具が必要か考え準備していく

友だちと共同し、遊びを工夫したり、考えたりし、自分たちでやり遂げる喜びを味わう

安心と信頼のポイント

・こども自身が解決の仕方を見つけられるよう寄り添う
・「なぜ」「どうして」と不思議に思う気持ちを受け止め、周りの人と共有する体験をしていけるようにする

環境と援助のポイント

・友だち同士で、共通の話題について話したり、聞いたりすることで遊びの発展につながっていくようにする

物の性質や仕組み、不思議さなどに気付き、友だちと工夫したことを、「こんなことを発見したよ」と周りに知らせています。

身近な自然事象や社会の仕組みに目を向けはじめ、きまりの大切さがわかり、見通しをもって、自分たちで遊びや生活を進めていきます。

遊びや生活の中で、文字や数量、図形や標識などを使う活動を取り入れることで、関心が高まり、感覚が養われます。

6 就学前教育・保育と小学校教育への接続

就学前教育・保育から小学校教育への円滑な接続を目指して

小学校以降の生活や学習の基盤を育成
～こどもの発達や学びをつなぐ～

就学前教育・保育から小学校教育へ学びをつないでいくためには、まず、こどもの育ちと学びを知り、保育者・教職員が互いにどのようなねらいで、どのようなことをしているのか、それぞれの保育・教育内容について知り、理解を深めることが大切です。

一人ひとりをつなぐとは・・・・・

こどもは、自発的な活動としての遊びを通して育っていきます。そこで、一人ひとりの個性や発達の特性を理解し、遊びを通して育まれている学びを的確に捉え、さらに発達に必要な体験となるように、それぞれの時期にふさわしい環境やかかわりを積み重ね、つないでいきます。また、こども同士が互いに学びあい、かかかわりあえるように橋渡しをしていきます。

保育と授業をつなぐとは・・・・・

こどもは、繰り返し遊び、経験を積み、考え、遊びのイメージを膨らませ、その願いを達成しようと夢中になります。認知能力と非認知能力をバランスよく引き出す環境と指導が、小学校での学習意欲や生活態度の基礎となります。

カリキュラムをつなぐとは・・・・・

遊びや生活を中心とする就学前教育・保育と系統的な教科等を学習する小学校教育とでは、教育課程の構成原理や指導方法等が異なるように、こどもの発達の段階に応じた教育を行う上で意味のある差異があります。これらの違いを認識しながら学びの連続性を保障し、質の高い教育・保育を進める取り組みが求められています。そこで、就学前教育・保育で育まれた資質・能力を、小学校以降の教育で育成すべき資質・能力につなげることの重要性に鑑み、円滑な接続が図られるよう、具体的な手だてを考えていきたいと思います。

遊びを通して育まれる資質・能力をつないでいくために・・・・

こども同士がつながる
職員同士がつながる

個別最適な学び、協働的な学び
主体的・対話的で深い学び

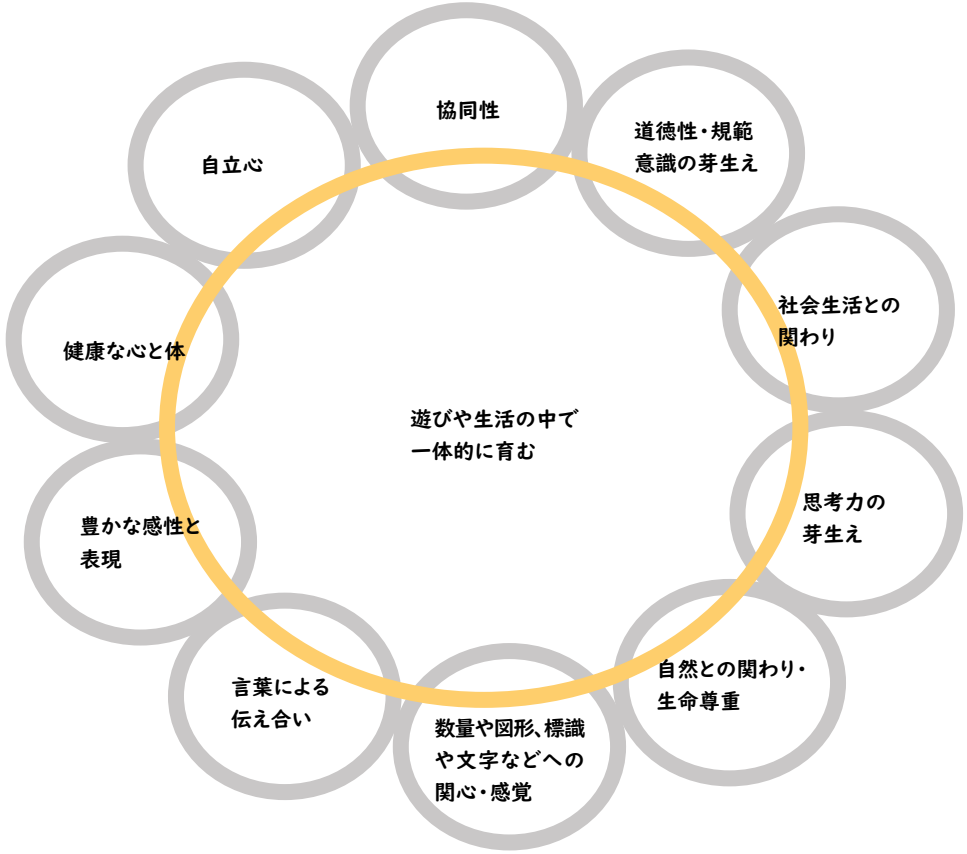
就学前教育・保育において育みたい資質・能力

「生きる力」
「共に生きる力」の育成

『小学校以降で進められている教育の方向性（「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善につなげていくこと）は、子供それぞれの興味・関心や一人一人の個性に応じた多様で質の高い学びを引き出す観点から、幼児教育の「環境を通して行う教育」の考え方とつながっている。』
～今後の幼児教育の教育課程、指導、評価等の在り方に関する有識者検討会最終報告〈概要〉令和6年10月より～

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）

就学前教育・保育と小学校教育とのなめらかな接続に関して「3つの資質・能力」を具体的な姿として表したものです。「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は、到達すべき目標ではなく方向目標であること、個別の評価のものさしではないことに十分留意する必要があります。



※引用した文中の「幼稚園」の用語は、本書では「就学前教育・保育施設」を指します。

「四日市市幼児教育センター令和6年度 教育・保育施設職員研修 Ⅲ専門研修D連携・接続 3026保幼こ小連携・接続研修　国立教育政策研究所 幼児教育研究センター掘越紀香副センター長〈幼小接続期の教育と質向上〉講演資料より引用」

健康な心と体　幼稚園生活の中で、充実感を持って自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる。

自立心　身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で、しなければならないことを自覚し、自分の力で行うために考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信をもって行動するようになる。

協同性　友達と関わる中で、互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感をもってやり遂げるようになる。

道徳性・規範意識の芽生え　友達と様々な体験を重ねる中で、してよいことや悪いことが分かり、自分の行動を振り返ったり、友達の気持ちに共感したりし、相手の立場に立って行動するようになる。また、きまりを守る必要性が分かり、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付けながら、きまりをつくったり、守ったりするようになる。

社会生活との関わり　家族を大切にしようとする気持ちをもつとともに、地域の身近な人と触れ合う中で、人との様々な関わり方に気付き、相手の気持ちを考えて関わり、自分が役に立つ喜びを感じ、地域に親しみをもつようになる。また、幼稚園内外の様々な環境に関わる中で、遊びや生活に必要な情報を取り入れ、情報に基づき判断したり、情報を伝え合ったり、活用したりするなど、情報を役立てながら活動するようになるとともに、公共の施設を大切に利用するなどして、社会とのつながりなどを意識するようになる。

思考力の芽生え　身近な事象に積極的に関わる中で、物の性質や仕組みなどを感じ取ったり、気付いたりし、考えたり、予想したり、工夫したりするなど、多様な関わりを楽しむようになる。また、友達の様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気付き、自ら判断したり、考え直したりするなど、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをよりよいものにするようになる。

自然との関わり・生命尊重　自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や探究心をもって言葉などで表しながら、身近な事象への関心が高まるとともに、自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。また、身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊さに気付き、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり、大切にする気持ちをもって関わるようになる。

数量や図形標識や文字などへの関心・感覚　遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、自らの必要感に基づきこれらを活用し、興味や関心、感覚をもつようになる。

言葉による伝え合い　先生や友達と心を通わせる中で、絵本や物語などに親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付け、経験したことや考えたことなどを言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりし、言葉による伝え合いを楽しむようになる。

豊かな感性と表現　心を動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で、様々な素材の特徴や表現の仕方などに気付き、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる。

第2章に示すねらい及び内容に基づく活動全体を通して資質・能力が育まれている幼児の幼稚園修了時の具体的な姿であり、教師が指導を行う際に考慮するものである。
●知識及び技能の基礎 ●思考力、判断力、表現力等の基礎 ●学びに向かう力、人間性等

学びに向かう力、人間性など

心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする。

好奇心旺盛に世界を探索し、自己を表現しながら成長していきます。自分の思いが尊重され、認められる環境によって自己肯定感が高まり、学びに対する意欲がさらに引き出されていきます。

身近な環境に対して、「なに？」「なぜ？」と不思議に感じ、かかわることを通して、「知りたい」と思う気持ちが育ち始めます。友だちと一緒に夢中で遊び、楽しさを感じることが学びの基盤になります。

友だちとイメージを共有し、「遊びたい」という気持ちが、遊びの面白さを追求することにつながります。

意欲をもち、粘り強く取り組むことや、難しいことにもあきらめずに取り組む、その背景に人とのつながりによる心の育ちがあります。

学校教育での「どのように社会・世界とかかわり、よりよい人生を送るか」という育ちにつなげていきます。

小学校における集団生活の中で、係や当番決めをはじめ、様々なこども主体の活動を通して、こどもたちは互いのよさを活かしながら、よりよい学校生活を送れるようになっていきます。こうした自分たちで考え、

工夫して取組む生活が、各教科はもとより、教育活動全般における学びに向かう力につながっていきます。

知識及び技能の基礎

豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かったり、できるようになる。

水、砂、土などの自然物に興味をもち、自ら体全体を使って遊ぶことで、感触を味わい、その性質に気付いていきます。徐々に手先が器用に使えるようになり、玩具の使い方も身についていきます。

どうすればよいか意見を出し合い、様々に構成し、遊んでいます。「やってみたい」「次はこうしよう」「こうしたらどうかな」と、意欲が高まり、遊びがより楽しくなっていきます。

遊具や用具の名前を知り、安全、約束、工夫の仕方などを考え、友だちと伝えあい、遊んでいます。実体験がこどもたちの知識を広げます。

友だちと目標をもち、考えたことを試しながら、集中しています。経験の積み重ねが、知識及び技能の獲得へつながっていきます。

学校教育での「何を理解しているか」「何ができるか」という育ちにつなげていきます。

幼児期の興味・関心に基づいた多様な体験や遊びの中から芽生えた学びが、小学校では各教科等に分かれて、さらに伸ばされていきます。その中心となるのが、授業の時間です。学校生活の大部分を占める授業において、こどもたちは「～ができる」「～が分かる」といった知識や技能を獲得していきます。

思考力・判断力・表現力などの基礎

気付いたことやできるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする。

身近な環境に興味・関心をもち、「どうして？」と不思議さに気付き、観察しています。試したり、表現したりすることを保育者に応答的に受け止めてもらうことで、さらに考えを深めようとします。

友だちとかかわる心地よさを味わいながら、遊んでいます。試行錯誤を繰り返すと、遊びが面白くなっていきます。遊び込むことで内容が徐々に変化し、発展をとげ、新たな面白みを生み出します。

好奇心をもち、五感を通して、様々な体験をし、考えたり疑問に思ったりしたことを調べています。身近な人や物事から、発見する喜びを味わっていきます。

友だちとイメージを共有し、よりリアルに近づけるために真剣に挑んでいます。経験したことや考えたことなどを出しあい、協力し、やりきる楽しさを感じます。

学校教育での「理解していること」「できること」をどう使うかという育ちにつなげていきます。

小学校の授業では、新しい知識や技能を学ぶだけではありません。例えば、生活科でのアサガオの栽培では、継続して観察したことを絵日記の形式で表したり、アサガオが元気に大きく育つにはどうすればよいかを考えたりする活動を通して、思考したり、表現したりする力が育ちます。また、ペアやグループでの活動などで、協力して共通の目標に向かい、授業で学んだ知識や技能を活かし、お互いの考えを聞きながら、思考力・判断力を高めていきます。

7 あとがき

幼保こ園一体で進める教育～全国のモデルに～

「子どもは宝、未来の創造者」です。その土台が乳幼児期に育まれます。四日市は、幼児教育センターを核として公私の別なく、幼保こども園の別なく、子どもの健やかな育ちのため四日市のカリキュラムも策定されました。その内容を園のカリキュラムに取り入れて実践し始めている園もあります。

今回、さらにその内容を精選して保育者一人ひとりに配布されます。戸惑った時、不安になった時に、ちらりと目を通すような冊子になればと願っています。また、小学校の先生にもデータで目を通せるようになるようです。特に１年生を担任した先生は、さらさらっとご覧いただければと思います。乳幼児期の育ちをより充実させ、小学校につなげていくために皆様が「役に立った」と少しでも感じていただければ、関係者としては幸甚です。

また、センターは、公私幼保こ園の保育者の研修会や園を訪問しての研修も行い、四日市全体の教育・保育のレベルアップが図られつつあります。こうした全国でも類を見ない先進的な教育づくりをオール四日市で進めていきましょう。

四日市市幼児教育･保育研究協議会
三重県私立幼稚園･認定こども園協会理事
四日市私立幼稚園協会会長（あおい学園園長）
松永　高弘

7 あとがき

公私立･保幼こども園の垣根を越えて

「四日市市就学前教育・保育カリキュラム」に続き「活用版」が示された事は、とても有意義なことであります。これは、四日市市が全国的にも先進的な四日市市幼児教育センターを設置された事により、本書が完成した事だと思います。

このカリキュラムは、現場の保育士、保育教諭にとって子ども達の好奇心・探求心、遊びの中から学ぶ楽しさをさらに広げられるヒントが網羅されている１冊です。

子ども達が興味を示し、やってみたい、これ何？と探求心や好奇心を小さいうちからもつことが学びとなり、失敗を恐れず挑戦できる環境の中での成功体験から達成感を味わう経験を繰り返して大きくなられる子どもの姿ではないかと思います。

四日市私立保育連盟としても、このカリキュラムを軸にそれぞれの園が切磋琢磨し、子どもの幸せのために切れ目のない保育・教育となり、10 年後、20 年後の子ども達の姿につながるように、まずは小学校へ進む子ども達の為に活用していけたらと思います。

四日市市幼児教育･保育研究協議会
四日市私立保育連盟会長（河原田保育園園長）
林　秀典

7 あとがき

「すべての子どもの権利と育ちを
保障していく社会の実現」 をめざして

一昨年「こども家庭庁」が設立され子どもの権利を守る「こども基本法」が施行されました。

時代を担う全ての子どもたちの権利の擁護の基礎を築き、自立した個人として成長できる社会を、社会全体で取り組むことが期待されます。

保育者は子どもたちと楽しく幸せに生活していた保育の社会から、保育者に求められる高度な専門性や地域の子育て支援としての役割が求められています。

あらゆる面での保育者への負担が課せられるなか、保護者、地域社会からの要望・苦情・人材不足への不満等々は少なくはありません。子どもたちは、保育者が守れますが、保育者は施設のリーダーが守っていかないと、と思います。

四日市市内の施設で子どもたちの成長を支える保育者の皆様に私はエールしか送れませんが、やりがいのある仕事ではあります。

やさしく、おもいやりをもって頑張っていきましょう。

四日市市幼児教育･保育研究協議会
三重県保育協議会元会長（まちなかフジ保育園園長）
藤谷 俊文

8 四日市市就学前教育・保育カリキュラム活用版にかかわった委員・関係者

◇ 令和６年度　四日市市幼児教育・保育研究協議会

学識経験者
三重大学教授　富田　昌平
三重大学准教授　水津　幸恵

幼稚園・保育園・こども園・地域型保育施設　関係者

三重県私立幼稚園・認定こども園協会理事
四日市私立幼稚園協会会長（あおい学園園長）
松永　高弘

四日市私立保育連盟会長（河原田保育園園長）
林　秀典

三重県保育協議会元会長（まちなかフジ保育園園長）
藤谷　俊文

四日市市公立園長会会長（四日市市立泊山幼稚園園長）
山内　祥代

教育委員会・行政関係者

四日市市教育委員会指導課課長
草川　誠

四日市市教育委員会指導課指導主事
大熊　雅教

四日市市こども未来部保育幼稚園課副参事兼課長補佐兼指導係長
こども施設再編推進室　室付主幹
服部　由香

四日市市こども未来部保育幼稚園課副参事兼課長補佐
こども施設再編推進室　室付主幹
山本　直子

８ 四日市市就学前教育・保育カリキュラム活用版にかかわった委員・関係者

◇ 写真提供に協力いただいたこども園・保育園・幼稚園・地域型保育事業所・小学校

《こども園》

愛育こども園　愛華こども園　いずみこども園　かわしまこども園　きしだこども園　橋北こども園

楠こども園　くまだこども園　水沢こども園　たいすいこども園　高花平こども園　富田こども園

ひのもと第二こども園　フジ保育園　保々こども園　三重こども園　みのりこども園

めぐみの園幼稚園　よっかいちひばり認定こども園

《保育園》

あがたが丘保育園　内部ハートピア保育園　大谷台保育園　河原田保育園　こっこ保育園　ことり保育園

笹川保育園 たいすい中央保育園 たいすいノース保育園 たいよう保育園 ときわ保育園 どんぐり保育園

西浦保育園　にじのはな保育園　浜田保育園　日永ハートピア保育園　日の本保育園　ひよこ保育園

海山道保育園　陽光台保育園　ローズ幼児園

《幼稚園》

あおい幼稚園　暁幼稚園　内部幼稚園　海の星カトリック幼稚園　エンゼル幼稚園　海蔵幼稚園

桜あおい幼稚園　津田第一幼稚園　津田第二幼稚園　津田三滝幼稚園　ときわ幼稚園　富田文化幼稚園

羽津文化幼稚園　ひかり幼稚園　まきば幼稚園

《地域型保育事業所》

かすみ園　キッズガーデンいずみ　キッズガーデンはづ　　キッズ・ティアラ　Kindergartenあけぼの園

Kindergartenイオンモール四日市北園　Kindergartenうのもり園　Kindergartenのだ園

Kindergartenはづ園　しものひばり保育園　スマイルキッズルーム　たいすいキッズステーション

つぼみ保育園　とまり丘保育園　にじいろランド四日市園　保育所ちびっこハウスあかほり園

まちなかフジ保育園　もりのくに国際幼保園　山口堂保育園

《小学校》

内部小学校　神前小学校　橋北小学校　笹川小学校　塩浜小学校　中央小学校　常磐西小学校　富田小学校

イラスト原画　今西光

四日市市就学前教育・保育カリキュラム活用版

遊びがこどもたちの未来をつくる

2025年3月　発行

編集・発行　四日市市幼児教育センター
〒510−0025
三重県四日市市東新町26−32
橋北交流会館3階
TEL　059−333−6002
FAX　059−333−6003

四日市市幼児教育センター

発行　四日市市こども未来部保育幼稚園課
四日市市幼児教育センター
〒510-0025
四日市市東新町 26-32　橋北交流会館 3 階
TEL 059-333-6002